

[ここに入力]

キラウエア火山国立公園は、ハワイで唯一の世界遺産です。そして、現在も噴火し続ける世界で最も活発な火山です。ハレマウマウ火口は、キラウエア火山の代名詞ともいえる見応えたっぷりの火口スポットです。

# 紅葉台



# 新聞

第79号

2023年

5月27日

発行人：関谷 孝

## フラダンスに魅せられて

前田いづみ



前田さんは、介護福祉士や美容師などの資格を持ち、フラダンス（以下フラに略）の世界に限りない情熱をもってたくさんの方に教えています。前田さんを知ったきっかけは、いつものラジオ体操の仲間、山本さんからです。山本さんの娘さんから「川口市民センターでフラダンスをボ

ランティアで教えている素敵なお方がいる」との情報を得、会ってみたいと思いました。

前田さんがフラに出会ったのは、お母さんがフラを教えていたことからです。当時は、フラの草創期。福島の高尾アンセンターで（映画フラガールで有名になりました）フラを教えていた先生から興味を持ち、ハワイに行っ

て本格的に習い始めました。まだ子供だった前田さんは、いつもお母さんに連れられて踊りを見ていただけで、自分が踊るなんて夢にも思ってみなかつたそうです。それが、40代になって、ハワイ島のメレアナ・マニユエル先生に出会い、フラの世界に魅了されていきました。メレアナ先生は、ハワイ島出身。ここは、火山がいつも赤い溶岩を噴き出しています。その地球のエネルギーを感じ、フラを通してみんなにエネルギーを分け与えたいという思いがあるのだそうです。メレアナ先生は、「クム・フラ」と言ってフラの修行をした人に与えられる称号を持っています。毎週末日本に来て、フラを教え、ハワイ島に帰る生活を30年間も続けています。その情熱にびっくりですね。ハワイ島に帰るのは、火山のエネルギーを感じるためです。フラは、そもそも、自然にあるものすべてを慈しむ心を大切にしています。海、山、草花、水、風すべてに命の躍動を感じて踊ります。その思いは、人に優しい気持ちを与え、心が癒されることを根幹にしています。ですから子供から90代の高齢者にもフラは楽しめます。月3回の練習を今でも続けています。フラは「分け与える」ことが大事なので、人に「来て」と言われれば、どこにでも行って分け与えることをしています。今では、ボランティアでたくさんの方に教えています。「すべてのものに命が宿り、受け止めて感謝することがフラの神髄である」と話していたことが印象的でした。私たちが普段忘れているこういう感覚がフラにはあることを初めて知りました。



前田さんは、「ウニキ」と言ってフラを教える指導者としてメレアナ先生に認められました。フラの魅力を知ると「子供が大きくなっても家族のように繋がっていくことが楽しみ」「フラファミリーになって、だれもがみんな元気で楽しく暮らして欲しい」と話していました。

紅葉台新聞は、「高尾フモト同盟」のHPに公開されています。高尾の情報や働く人たちが紹介されています。興味を持った方は、覗いてみてください。また、皆様からの情報や投稿もお待ちしています。

コロナのために3年間は、活動が自粛されていましたが、最近では、日本の文化とハワイの文化の融合を図りたいと、「津軽三味線とハワイアンバンドとフラの発表会」をしました。

一見全く相いれない世界ようですが、力強い津軽三味線とフラが見事なほどにマッチした公演になりました。

「楽しいことに挑戦したい！」と意欲満々でした。

**今年の5月28日(日)片倉城址公園隣の「つどいの広場」で恒例の「八王子流鏝馬大会」があります。**そこでも

10時から津軽三味線とコラボしたフラを発表すること。興味のある方は是非お出かけになって実際にみてください。フードトラックも来るそうです。

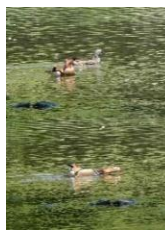
これからの展望は、「若い人を育てたい」「高齢者にもフラを通し、杖をついてきて、帰りには杖を忘れて帰るような取り組み」をしたいとのこと。そのうえ「音楽を聴き、踊ることで老化防止」「人は横歩きをすることで脳の活性化になる」「何にもまして、フラは心で感じ踊る。すると、気持ちが伝わる」。私たちにとって生きがいや楽しみを見つけて生きることはますます求められます。フラの持つ深い意味をじっくり聞いて、前田さんの生き方に共感することがたくさんありました。

(文責 関谷)



## 粕谷和夫の観察日記

オシドリ



中央本線藤野駅から北に向かって沢井川筋の県道を歩き、その旧道の橋からカワガラスを狙って双眼鏡を向けると、カワガラスではなくオシドリのペアが視野に入りました。この時期にペアがいるということは、近くで営巣の可能性があります。



## カラヤン

4月29日、高尾山某所の3か所で観察しました。小柄な着生植物で、苔の付いた樹木の幹や枝から垂れ下がるように生育し、気根で附着しています。葉の形状が榎の木のようなのでカラヤンとなったと図鑑にあります。

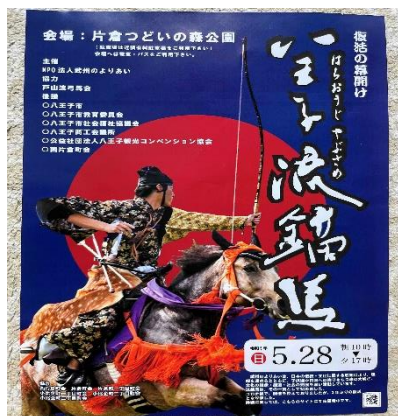


## アゲハチョウ

毎月行っている高月水田の野鳥定期カウント、5月1日菜の花にモンシロチョウが集まり、そこにアゲハチョウも1匹来て、吸蜜を始めました。冬鳥のツグミと夏鳥のツバメも同時に出現しました。

[ここに入力]

キラウエア火山国立公園は、ハワイで唯一の世界遺産です。そして、現在も噴火し続ける世界で最も活発な火山です。ハレマウマウ火口は、キラウエア火山の代名詞ともいえる見応えたっぷりの火口スポットです。



紅葉台新聞は、「高尾フモト同盟」の HP に公開されています。高尾の情報や働く人たちが紹介されています。興味を持った方は、覗いてみてください。また、皆様からの情報や投稿もお待ちしています。